

弟子の召し出し

イグナチオ的観想

1. 準備の祈り
自分のあらゆる意向と行動と働きが、ひたすら主なる神への奉仕と賛美だけに向けられるよう、主の助けを願う。
2. 三つの準備
 - a. 第一の準備
これから観想する内容をまとめる事。
 - b. 第二の準備
見えるように場所を設定する事。
 - c. 第三の準備
望んでいるものを願う事。
3. 三つの要点
 - a. 要点第一
観想におけるあれこれの人物を見る事。
 - b. 要点第二
人々が話している言葉を聞く事…
 - c. 要点第三
人々が行っている事を見る…
その後、この一つひとつの事から何らかの益を収めるため自分に目を向ける。
4. 対話
最後には対話すべきである…

弟子の召し出し

四人の漁師を弟子にする (マタイ 4, 18-22)

¹⁸ イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。¹⁹ イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。²⁰ 二人はすぐに網を捨てて従った。²¹ そこから進んで、別の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父親のゼベダイと一緒に、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になると、彼らをお呼びになった。²² この二人もすぐに、舟と父親とを残してイエスに従った。

霊操

[275a] 使徒達の召し出し

(マタイ 4・18-22、9・9、10・1-4、マルコ 1・16-20、3・13-19、2・13-14、ルカ 5・1-11、5・27-32、6・12-16、ヨハネ 1・35-51) 参照

要点第一

聖ペトロと聖アンデレは、三度召されたようである。一度目は、キリストをある程度知るために、これはヨハネ第一章に記されている。二度目は、何らかの形でキリストについて行くように。その時は手放したものを取り戻すつもりであった。これはルカが五章に書いたとおりである。三度目は、終生我が主キリストに従うよう召された。これはマタイ四章とマルコ一章に記されている。

要点第二

ヨハネ一章にある通り、主はフィリッポを、そしてマタイ自身が九章に書く通り、そのマタイも召された。

要点第三

主は他の使徒達も召されたが、福音書は彼らの固有の召し出しについて言及していない。

[275b] なお三つの事を考慮すべきである。

第一、使徒達が無学で、身分の低い人であった事について。

第二、彼らがかくも優しく召されたその尊い位について。

第三、彼らが受けた賜物と恵みについて。それによって、新約と旧約の全ての父達以上に高く上げられたのである。

弟子の召し出し

祈りの助け

1. **誰が呼んでいるか**：聖イグナチオの言葉によれば、「永遠の王、私達の主キリスト」[95]
1. **誰を呼ぶのか**：「主は全ての人、又一人ひとりをお召しになり」[95]
2. **何をしたいか**：「全世界とすべての敵を征服し、それによって私の父の栄光に入る」[95]
3. **どのような条件で**：「私と一緒に来たい人は、私と共に働かなければならない。」[95]

[95] 第二部

この霊操の第二部は、上記の三要点に従って、私達の主キリストに、前述のこの世の王のたとえを適用する事である。

要点第一

このように家臣に呼びかける、過ぎ行く世の王の召しを考察したが、永遠の王、私達の主キリストを見、又その前にある全世界を見る事は、なおさらいかに考察に値する事であろう。主は全ての人、又一人ひとりをお召しになり、次のように言われる。「私は、全世界と全ての敵を従わせ、こうして父の栄光に入る事を心に決めた。であるから、私と一緒に来たい人は、私と共に働かなければならない。こうして、労苦のうちに私について来た人は、栄光のうちにも私について来るであろう」と。

5. 主の呼びかけに対する二つの答え

a. [96] 要点第二

判断力と理性のある人は皆、この仕事に身も心も捧げるであろうと考察する。

b. [97] 要点第三

永遠の王、万物の主に対するあらゆる奉仕の道において特に熱心であり、卓越したいと望む人ならば、その仕事に身も心も捧げるだけでなく、自分の感覚、及び肉体的、世俗的愛に対して戦いながら、より貴重で重大な奉獻をし、次のように申し上げるであろう。

[98] 「万物永遠の主よ、ご好意とおん助けに寄り頼み、限りない慈しみであるあなたのみ前で、又 栄光に満ちた聖母と天堂の全ての聖人聖女の前で、私の奉獻をいたします。あなたへのより大いなる奉仕と賛美になりさえすれば、あらゆる**要**み、辱め、あらゆる心の貧しさと実際の貧しさを耐え 忍び、その道においてあなたに従い倣う事こそ、私が望み、切望し、熟慮の上で決定している事です。ただ、いと聖な

弟子の召し出し

「あなたが私をその道と身分に選び、受け入れて下さるならばの事です。」